

曾我家住宅門

本町通りに面した敷地東側の中央に開く表門。花崗岩の門柱一対が立つ。台石上に立つ 30cm×24cm の角柱で、高さ約 2.5m。表面は瘤出し仕上げで、角は江戸切り状に仕上げる。門柱上に唐破風形の鉄パイプ製飾りを掛け渡し、中央に照明器具を吊り、渦形飾りをつける。門柱と門柱上の飾りは曾我家の全体絵図にも見え、新座敷を建てた大正 11 年頃のものと考えられる。

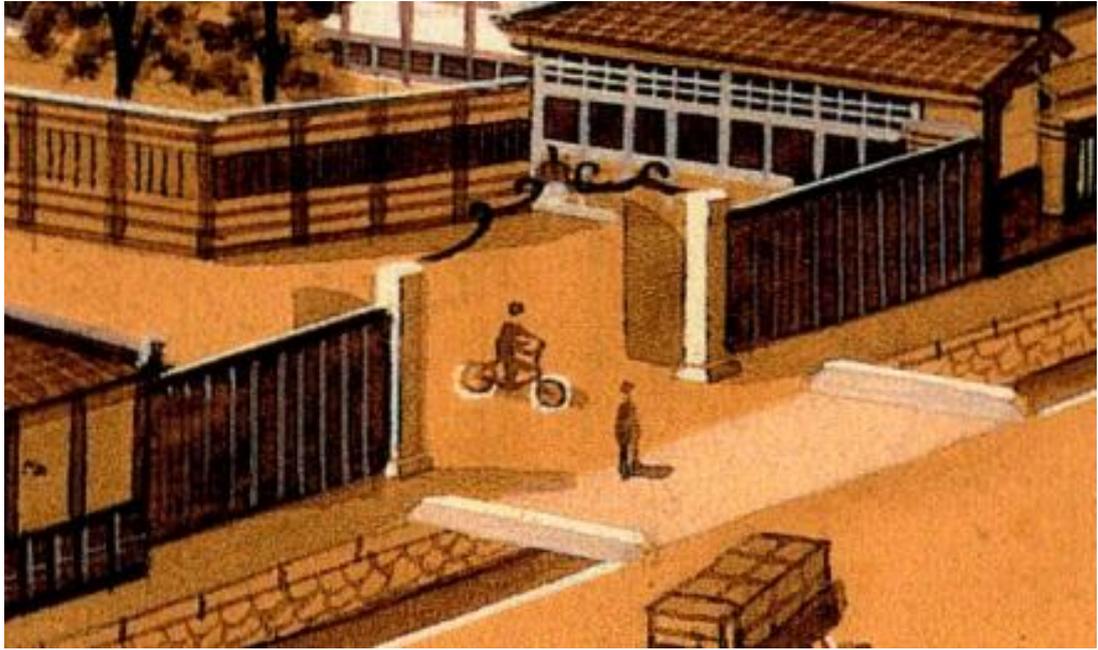
※江戸切り・・・四角く切り取られた石の四辺を内側に向かって直角に切り取り段を付ける。段を付けることで石が立体的になり、石の厚みをより引き立たせることができる



門柱



門柱飾り



全体絵図の一部曾我家門柱